

## 中世都市と封建制の動揺

### 1. 荘園制の変質

12-15 世紀 直営地の解体→小作地化

13-14 世紀 賦役の金納化

14-16 世紀 賦役の消滅

13-14 世紀 農奴解放

↓

### 2. 農民反乱

1358 ジャックリーの乱 (フランス)

1381 ワット=タイラーの乱 (イギリス)

「アダムが耕し、イブが紡いだとき、誰が領主だったのか。」

独立自営農民 (ヨーマン) の出現 14-15 世紀

### 3. 遠隔地貿易の発達 11 世紀以降

#### 地中海貿易

バーリ・アマルフィ→ヴェニス・ジェノヴァ

香辛料、明礬、藍、赤土、宝石、綿、絹・・・輸入

銀、奴隷、毛織物・・・輸出

#### バルト海貿易

1358 ハンザ同盟結成 リューベックとハンブルク

100 都市参加、

4 在外商館 (ロンドン、ブリュージュ、ベルゲン、ノブゴロド)

木材、毛皮、穀物、魚介類 (鯨や鱈など)

#### 南ドイツ

銀鉱山を独占→フッガー家やウェルザー家などの豪商

ニュルンベルク、アウクスブルク

イタリア諸都市と北欧・東欧を結ぶ

#### シャンパーニュの大市 12-13 世紀←関税撤廃

トロア、プロヴァン、ラニー、バールの 4 市

↓

#### フランドル (ブルゴーニュ公領)

ヨーロッパ最大の毛織物工業地帯

アラス、ガン、イーブル

### 4. 中世都市

#### 起源

フォブール（商人定住地）の発展

コンミューン（自治権）闘争 10－13 世紀

自治特許状の付与

自治都市の成立

商人ギルドの支配（例 パリー水運業者のギルド）

市長、市参事会を独占

ポーポロ・グロッシとポーポロ・ミヌート

1378 チョンピ（梳き毛工）の乱

ギルド

徒弟制

親方、職人、徒弟

ギルド規制

## 5. 中世末期 14－15 世紀

人口過密→食糧不足

降雨量の増加 1300 頃－1317 年 → 不作と飢饉

イーブルの例 1316 年 2 万人中 2794 人埋葬

50%の穀物価格の上昇

黒死病（ペスト）の流行 1347－53 年

パリ 20 万人中 5 万人死亡

但し、ドイツや東欧ではあまり流行せず

↓

人口減少 無人村、廃村の出現

封建制の解体